



# あなたの署名が 大きな力に



日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名へ  
ご協力おねがいします

## 京都生協が核兵器の廃絶に取り組む理由

京都生協は、2002年4月理事会で「京都生協として誰もが一致できる範囲での平和についての基本的な考え方」として『平和への願い』を決めました。その中で「核兵器の悲惨さを体験した唯一の国にある生協として、核兵器は一刻も早く廃絶するべきであると考え、核兵器の保有、使用、威嚇、開発、実験等は容認できません」としています。

京都生協は、創立以来「平和とよりよい生活のために」というスローガンのもと、核兵器の一刻も早い廃絶を求めて取り組んできました。

## 忘れてはいけない。日本は唯一の戦争被爆国

2021年1月に「核兵器禁止条約」がついに発行しました。この条約は、核兵器を廃絶するべきものとして初めて明記した法規範で、人類の生存を脅かす核兵器から人類を守る国際条約です。残念ながら日本政府はこの条約に参加していません。日本が唯一の戦争被爆国として世界各国の先頭に立って核兵器禁止条約の署名・批准を行い、活動していくことが重要だと考えています。



## 平和は与えられるものではなく、「守る」もの



### 署名の提出方法・期限

署名は宅配を利用されている方は、配達担当者にお渡しください。

店舗を利用される方は、店舗受付カウンターにお渡しください。

提出期限  
9月30日(金)

### インターネット署名案内

提出期限：随時受け付けています。

インターネット署名をされる方は、右のコードをお読み取りください。



日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)から、日本生協連に署名協力の呼びかけがありました。このため、インターネット署名は直接日本被団協のオンライン署名につながっています。集った署名は10月中旬に、日本被団協にお渡しする予定です。

内閣総理大臣 殿

## 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

被爆75年にあたる2020年10月24日、核兵器禁止条約の発効要件を満たす50カ国の批准書(加入書を含む)が寄託され、2021年1月22日に発効となりました。核兵器の使用が国際法で禁止されたのです。

今や核保有国を含む世界の市民の多くが、核兵器が反人間的兵器で不要なものであることを知るところとなりました。

戦争による核攻撃を受けた唯一の国である日本政府は、核兵器の禁止から廃絶へ、今こそ先頭に立って世界をリードするときです。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求めます。

名 前	住 所

この署名は日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

### 【取扱団体】

京都生活協同組合

〒601-8382  
京都市南区吉祥院石原上川原町1-2

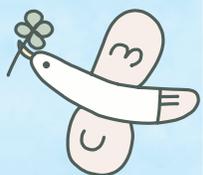
連絡先：日本原水爆被害者団体協議会

〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-5

ゲイブルビル 902

TEL 03-3438-1897

FAX 03-3431-2113



# あの悲劇を二度と 繰り返さないために知ってほしい 核兵器禁止条約

## 核兵器って非人道的?!

核兵器と他の兵器の大きな違いは、使われた時に亡くなる人の数が桁外れに多いということ。また亡くなり方が余りにもむごたらしい、そして生き残った人もその子どもたちも放射線による病苦に不安を抱えて生きなければならないということです。このような兵器は、まさに「非人道的」なものと言えます。



三山 正弘さん  
(長崎で胎内被曝)



花垣 ルミさん  
(広島で5歳の時に被曝)

被爆者の実情を4月20日に行われた学習会「京都の被爆者から被爆体験を聞く」で学びました。

詳しくはYouTubeで視聴できます→



## 核兵器禁止条約って何?

「核兵器を作ることも持つことも使うことも絶対にダメ!」という国と国との約束が核兵器禁止条約です。この条約は2017年にできました(国連本部で122カ国が賛成し採択)。そして2021年に発効しました。この条約に加わった国は、このルールに従わなければなりません。

世界のすべての国がこの条約に加われば核兵器はなくなります。しかし現在、核兵器を保有している国や日本も含め多くの国が、まだこの条約に参加していません。戦争によって原爆を落とされた唯一の国として、核兵器のない世界を目指し日本がその先頭に立つことが、とても重要だと思います。

## なぜまだ多くの国が条約に加わる事を拒んでいるの?

「核兵器があるから戦争が起きず平和が保たれている」抑止力という考え方があるからです。



しかし、本当にそうでしょうか?

ロシアはウクライナ侵攻の際に核兵器の使用も辞さないと脅しをかけていて、核戦争の危機が高まっています。

**核戦争を防ぐためには、核兵器の廃絶しかありません。**



## 第1回締約国会議がウィーンで開催

第1回締約国会議は、各国の代表やNGOなどの積極的な議論によって「核なき世界」の実現を目指す「ウィーン宣言」と、具体的な取り組みをまとめた「ウィーン行動計画」を採択し、具体化のためのワーキングチームを決めて閉幕しました。

第2回締約国会議は来年2023年11月にメキシコが議長国で開催されることになりました。



〈第1回締約国会議の様子〉

## 7月5日の平和の学習会で私たちも学びました。



講師：川崎 哲さん

2017年にノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)国際運営委員の川崎哲さんを講師に呼び、「核兵器ってどこが問題なの?」「私たちに何ができるの?」など、核兵器について学びました。オンライン・会場含め100人を超える方が参加しました。

詳しくはYouTubeで視聴できます→



## 参加者の声



〈会場の様子〉



〈オンラインの様子〉

核の脅威が現実味を増してきた中、核を持つという選択肢ではなく、核を持たない、と日本政府には強く主張してもらいたいです。



子どもたちに何から教えたらいいか難しいと感じていましたが、先生の「まず命の話をする」という言葉がとても腑に落ちました。



印象に残ったのは「核兵器の終わりの始まり」という言葉です。

核兵器が過去の物になるそんな世の中にしていきたいと思いました。



私も  
参加しました

(編集者・M)



新聞やテレビだけでは知らなかった、今起きている現状、核兵器を廃絶する道筋、未来を守るために何ができるのかを学ぶことができました。そして自分に出来る事を考え署名をしました。何もなくては平和な未来はないかもしれない。守るために一人一人の行動が大切な時だと感じました。

## 核兵器のない世界に向けて

私たちの想いや願いを伝えるために「署名」も一つの意思表示方法

署名は表面へ

